

資料 3

交通サービス利便向上促進事業

(函館市L R T整備計画・平成30年度実施報告)

函館市企業局

事業の実施内容

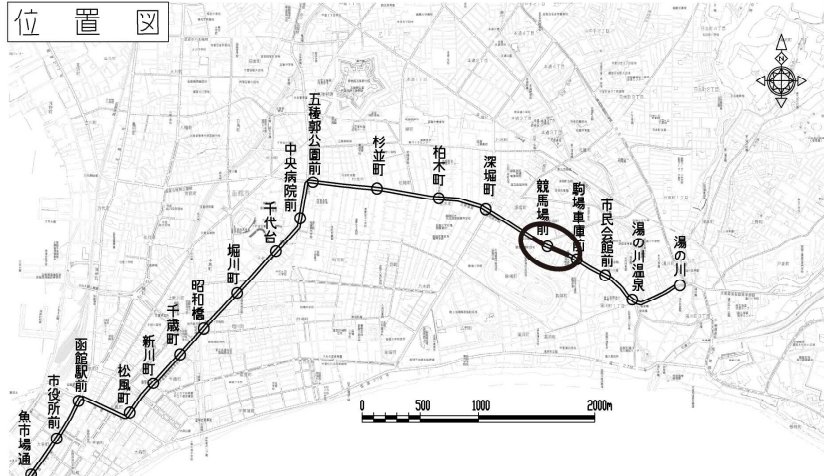
平成30年度 交通サービス利便向上促進事業					
事業名	数量	事業費(税込)		完成年月日	概要
制振軌道の整備 (深堀町～駒場車庫前間)	300m	決算額(見込) : 139,251,651円		令和元年 7月25日	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は昭和61年度および62年度に、たわみ構造から剛質構造へ改良し、既に31年程度経過しており、レールや舗装等の経年劣化による軌道狂いが著しく、安全な電車走行を確保するため300mを改良した。 既設37kgレールを50kgNレールに重レール化し、軌道強化を図り、レールの側面にゴム製のパッキン材を装着させ、電車走行時の振動・騒音を軽減し、冬期間は圧雪防止できる構造に改良した。 当初は、平成30年度中に完了する計画であったが、北海道胆振東部地震の影響により、使用機材や作業員の予定数確保が困難となり令和元年7月の完成となった。
		内訳	国補助金 45,971,257円 市補助金 34,378,780円 企業債 57,500,000円 自己資金 1,401,614円 計 139,251,651円		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本事業は令和元年度に繰り越したことから、現時点では決算認定を受けていないため見込とした。 </div>					

完成後の状況



深堀町～駒場車庫前間軌道改良工事

位置図



工事内容

軌道の老朽化により、磨耗・締結の弱体化から軌道狂いが著しいため、軌条の交換およびこれに伴う舗装工事を行うものである。

軌条 ～ 旦長 300m

37A → 50N (重軌条化)

コンクリート舗装 ⇒ ゴムパッキン挿入コンクリート舗装 (制振軌道)

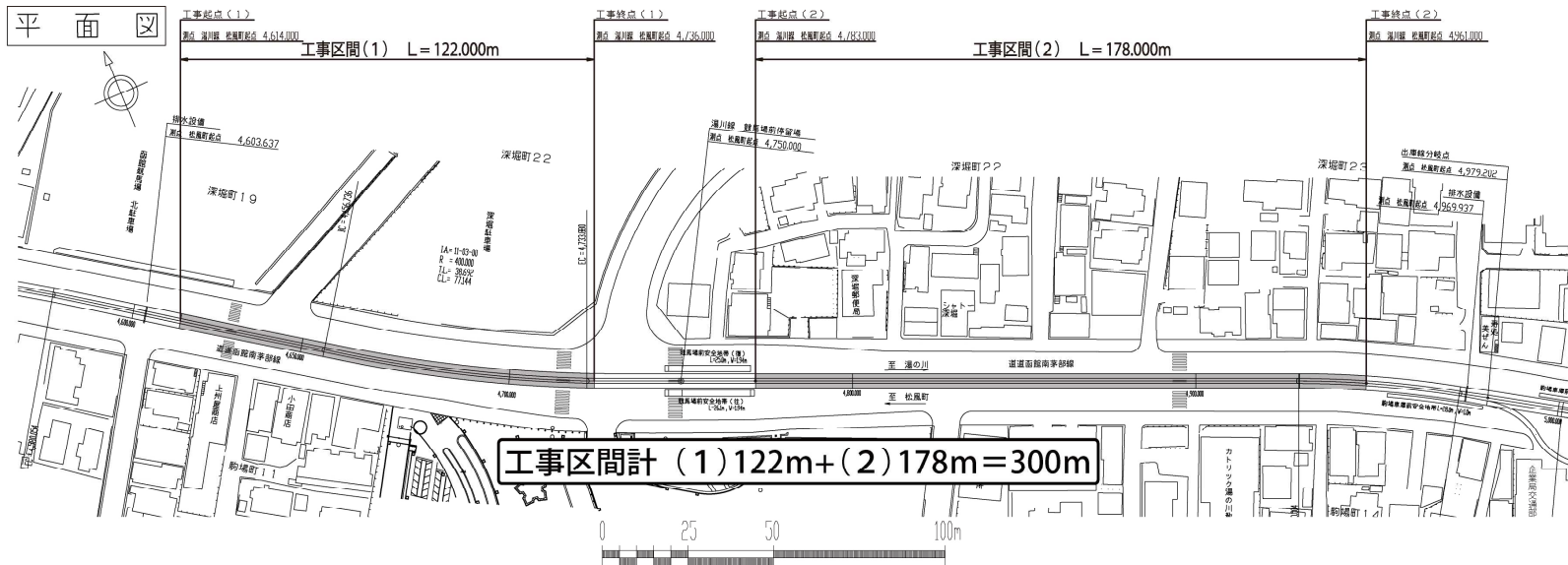
同箇所前施工年度

昭和61年度～昭和62年度 (施工後31～32年経過)

今後改良予定

軌道の老朽・劣化の著しい箇所を優先整備

平面図

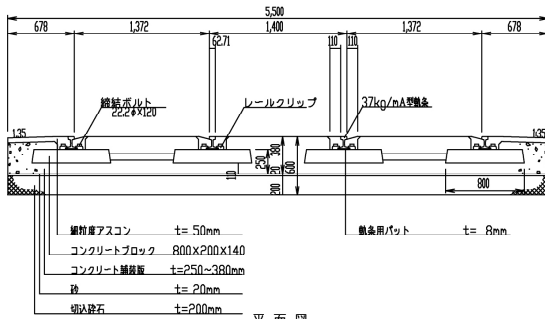


工事区間計 (1) 122m + (2) 178m = 300m

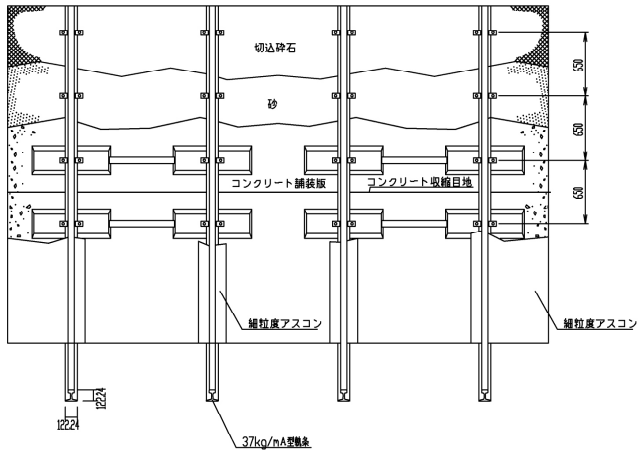
軌道構造図

<旧>

断面図

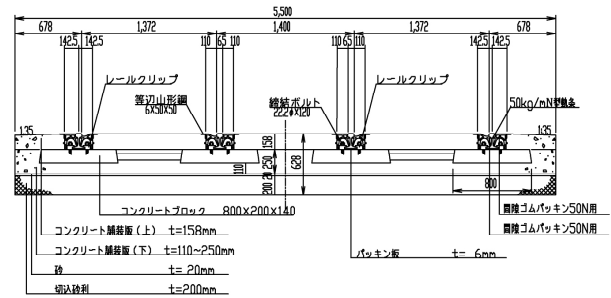


平面図

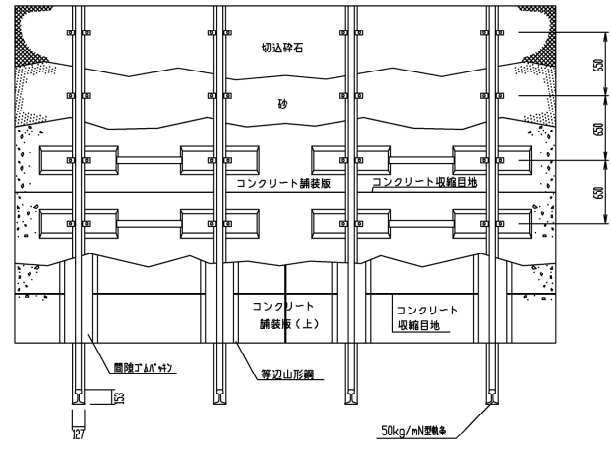


<新>

断面図



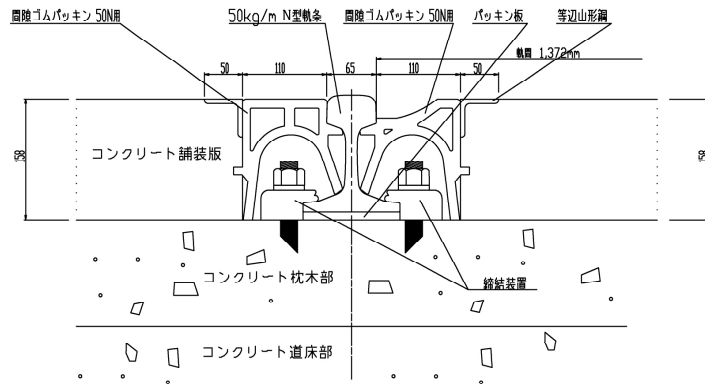
平面図



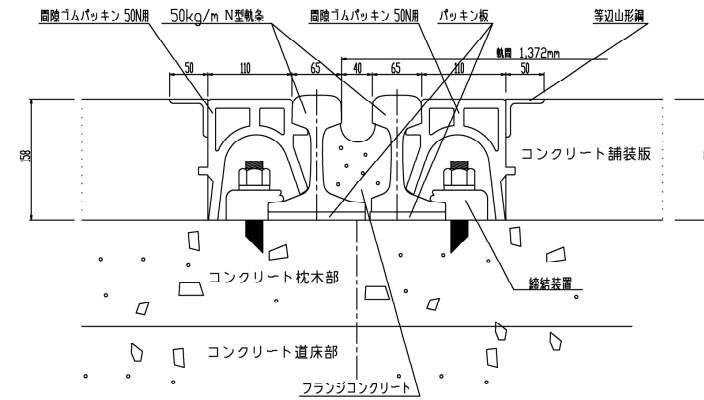
施行	平成30年度
工事名	深堀町~駒場車庫前間軌道改良工事
図面番号	第4号図
図面名	軌道構造図
縮尺/単位	1/30 / m
函	館市企業局

軌道舗装構造図

剛質一般部



剛性護輪軌条設置部



施行	平成30年度
工事名	深堀町～駒場車庫前間軌道改良工事
図面番号	第5号図
図面名	軌道舗装構造図
縮尺/単位	1/4 / m
函	館市企業局